

清友

No.149

2022年1月
(2022年1月6日発行)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

秩父・宝登山口ウバイ園にて

明けまして おめでとうございます

2022年



佃・月島フィールドワーク・佃小橋にて
(2021年10月20日)

○会長	庄司 隆男
○副会長	丹野富士雄
○副会長	柳 章
○事務局長	戸枝 章
○幹事	渡辺 正勝
○幹事	岩渕 勝美
○幹事	山岸 治美
○幹事	佐藤 晋一
○幹事	岡澤 徹
○幹事	押田 五郎
○幹事	箱田 修一
○幹事	篠田 和則
○会計監査	穂戸田 功
○会計監査	小林 守

これらを実現しましょう。

- 改憲発議阻止・参院選勝利
- 「現・退一致」の取組みで、
- 脱原発、核廃絶と基地撤去
- 非正規差別の撤廃
- 年金・医療・介護制度改善
- 退職者会の会員倍増
- 昇機運の年になりそうです。資本や富裕層ばかり太る世を変えるため、頑張りましょう。



今年の夢

今年の干支は「寅」。
「寅千里を走る」、上

明るく元気に楽しく そして、政治の転換を

東京清掃労働組合退職者会

会長 庄司 隆男



会員ならびにご家族の皆さま、明けましておめでとうございます。本年も皆さまが健康やかにお過ごしされますよう、心より祈念いたします。

コロナの感染拡大で、一昨年3月以降、会のすべての行事を中止にせざるをえないという厳しい状況が続きました。

感染が一定沈静化した昨年10月と11月に実施したフィードバックと日帰り旅行で、楽しい時間を共有できました。退職者会はみんなで集まることが大事だと痛感しました。コロナの状況次第ですが、今年は、会の行事を積極的に開催していきたいと思います。

7月の参議院選挙で

鬼木まことさんの必勝を

東京清掃労働組合

中央執行委員長 江森 秀稔



退職者会の皆さん、新年あけましておめでとうございます。日頃より退職者会の皆さんには、本部の様々な取り組みに対し、ご理解・ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は、昨年10月以降、感

染状況は落ち着いておりますが、新たな変異（オミクロン）株による感染が、世界各地で広がり始めており、第六波の感染拡大が国内でいつ起こってもおかしくない状況です。政府には、これまでの反省も踏まえ、適切な対策を望むものです。

さて、コロナの失政等万策尽きた菅が政権を放り投げ、岸田内閣誕生という擬似的政権交代下で行われた昨年10月の衆院選挙は、政権側のなりふり構わぬ攻撃により、野党共闘が不発に終わった選挙区もあり、結果として改憲勢力の伸長を許しました。しかし、野党共闘がなければもっと厳しい結果になったと思います。今年7月の参議院選は改憲発議を可能にさせないため、絶対負けられない選挙です。退職者会も、微力ながら精一

杯頑張りたいと考えています。また、退職者・高齢者の運動をはじめ、反戦平和、反差別、脱原発や、非正規・労働争議支援の取組みを「現・退一致」の立場に立って進め、現役世代の応援団として、東京清掃との連携をさらに強めます。

昨年の賃金確定闘争は、コロナ禍で奮闘する私たちに対して2年連続となる一時金の引下げが勧告され、これを受け入れざるをえませんでした。年明けからは、継続協議となった60歳以降の賃金水準を中心とした定年延長制度に関わる交渉が佳境をむかえます。制度矛盾とも言えるこの課題について、本部としても全力を尽くす所存です。

昨年行われた衆議院選挙では、与党を含む改憲勢力に3分の2以上の議席を与える結果となりました。この状況を果となりました。この状況を変えていくためには、今年7月に行われる参議院選挙で立憲野党を伸ばす以外にありません。特に自治労組織内予定候補「鬼木まこと」さんの高得票での当選に向け、退職者会の皆さんにもご支援・ご協力をお願いしたいと思います。

演芸を楽しむ会 2月10日(木)

- ▼寄席 「国立演芸場」2月上旬席
- ▼参加費 500円
- ▼募集 1月27日まで受付。



春の学習交流会 3月15日(火)

- ▼テーマ 福島原発の現状と
- ▼講師 上澤千尋さん
(原子力資料情報室スタッフ)



お花見ウォーキング 3月29日(火)

- ▼場所 小金井公園
- ▼実施方法 桜の木の下で(武蔵小金井駅集合)
- ▼参加費 500円(予定)



春のフィールドワーク 5月下旬を予定

- ▼場所 増上寺と芝公園
- ▼実施方法 散策とランチ
- ▼参加費 詳細は検討中



第14回定期総会 6月10日(金)

21年4月幹事会確認の「対応
コロナ感染が拡大した時は、

感染拡大時の対応は?

コロナの感染がジワジワ増
加しており、感染爆発が危惧
されます。このような状況下、
会の行事参加に躊躇されてい
る会員も多いと思います。

方針」に基づいて取組みます。
判断基準は明確です。『新春
の集い』は「会食自粛」要請
が出た場合は中止、『演芸を楽
しむ会』は公演が中止になら
ない限り実施、『学習交流会』
は「会食自粛」要請が出た場
合は「懇親会」を中止します。
また、行事の開催中止や内

参加者 募集中

3・15 2・10 1・22

「新春の集い」
「演芸鑑賞会」
「学習交流会」

新春の集い 1月22日(土)

- ▼時間 11時45分～14時
- ▼場所 飯田橋「焼鳥すいけん」
- ▼参加費 2,000円

*今年も「長寿祝い」「開運
ジャンケン大会」
を実施します。

- ▼募集 早めに連絡を



容を変更する場合は、参加申
込みをした方全員に、判断内
容を個別に連絡します。

「原発事故汚染水の海洋
放出再検討署名」ご協力
ありがとうございました

自治退都本部の指示により、
10月から12月10日まで取組ん
だ「トリチウムを含むALPS
処理水の海洋放出方針再検討
を求める署名」は、37名の
方から39枚、127筆が寄
せられました。
多大なご協力、まことにあ
りがとうございました。

「近況報告」をよろしく

今年も、皆さまの近況をま
とめた「会員のいま2022」
を発行します。日常の出来事
や健康、趣味のこと、現在関
係している運動の報告、社会
に関すること、退職者会への
注文など、何でも結構です。

コロナ禍で交流の機会が
減っていることを踏まえ、紙
面交流という面でも活用して
いただきたいと思います。

締切は2月10日、報告集発
行は3月初めです。
みなさんの投稿をお
待ちしています。



コロナ被害により困窮長期化の傾向 貧困層が固定化しかねない危険性懸念

コロナ被害相談村開村

この年末年始も、貧困に苦しむ人たちを支援する活動が各地で行われました。

新宿の大久保公園では、「年越し支援・コロナ被害相談村」が連合・全労連・全労協と市民団体、弁護士会等により、12月31日と1月1日に開村、約470人が食料支援や労働・医療相談などに訪れました。昨年は3日間で344人なの



新宿の大久保公園で行われた
年越し支援・コロナ被害相談村

で大幅増です。主催者は怒りを込めて「政治の貧困と行政の怠慢」を指摘しています。

年越し大人食堂等も開設

四ッ谷の聖イグナチオ教会で「年越し大人食堂」、池袋で炊出しと医療・生活相談が市民団体により取組まれました。若年層や子連れが増え多様化し、困窮が長期化する傾向が見られることから、貧困層固定化の恐れが懸念されます。



四ッ谷の聖イグナチオ教会
年越し大人食堂



辺野古新基地建設反対!
敵基地攻撃能力保有反対!



尾澤さんを迎える奥さんの邦子さん
(写真は東京清掃より提供)

尾澤孝司さんようやく保釈
サンケン電気を絶対許さない!

12月19日、21年最後の「19日行動」が国会議員会館前で行われ、約千人が参加しました。主催者は「いのち、くらし、個人の尊厳を軽視したアベスガ政治を忘れず、立憲野党と力をあわせて闘おう」と挨拶し、市民から「女性による女性のため」の相談会「沖縄の闘いに連帯する関東の会」がそれぞれ「非正規200万円以下という働き方が本質的問題」「戦没者の遺骨が混じった土砂を辺野古埋立てに使うな」とアピール、闘いを強化することが確認されました。

尾澤孝司さんが12月27日夜、ようやく保釈され、本人から保釈翌朝お礼の電話がありました。5月10日の不当逮捕から実に7ヶ月半、家族の面会も禁止される異常な長期勾留でした。サンケン電気と警察が仕組んだデッチあげ逮捕は、闘う人たちの弾圧姿勢をあらわにする権力犯罪です。このような暴挙を許しておくことはできません。サンケン電気にきつちりと落とし前をつけさせるべく、韓国サンケンの解散・全員解雇撤回を勝ち取るまで闘い続けましょう。